

茨城県立日立第

高等学校・附属中学校

スーパーサイエンスハイスクール通信

2013.6

今回の SSH 通信では、研究活動についてご紹介します! 出発点はどれも「不思議だな」「おもしろいな」という 気持ち。2 年次 SS クラスが個人で取り組む「科学研究」と、物理・化学・生物・地学・数学の各部が取り組んで いる研究があります。毎年、さまざまなテーマがあり、成果を学会や発表会などに出展しています。表彰や高い評 価を受ける研究が、いくつもあるんですよ。

科学研究」

メンバーの数だけテーマがある。 自分だけの研究は発見の日々。

「科学研究」は2年次SSクラスが1年間、授業として取り組む研究です。一人1テーマ、自分だけ の研究だから、興味あることを自由な発想で捉え、考えることができます。資料のまとめ方やプレゼン



【昨年度の研究テーマ一覧】

物人工衛星用電源の研究

理高く飛べる翼

3重振り子の研究

液柱共鳴装置による気体が混合した水中の音速測定 ガストフロント付近における竜巻の再現 未来に繋がるスターリングエンジン

自転車のホイールと空気抵抗の関連性

Karman Vortex's SOUND みんなに伝える警報音

小水力の研究

身近な材料で人工衛星を作る

化 海水を用いた二次電池の研究 学 河川水中の合成洗剤の定量と浄化法の研究 化 色素増感型電池の研究

学加熱調理による食品中のビタミンC量の変化 水溶液中のホルムアルデヒドの定量 導電性プラスチックの合成 光触媒を用いた脱臭効果の研究 アゾ染料の合成

るものは何か?

活性炭や光触媒を用いた水質浄化の研究 コレステリック液晶の合成

酸化銀を電極に用いた様々な電池の研究

生オーキシンが植物の成長に与える影響

物 ヒドラの再生と刺激の研究 ミドリムシの簡単培養の探究 植物のアレロパシーの探究

生 ミミズが土壌に及ぼす影響について

物アメンボの吸汁について 葉緑体と光の関係

アルコール発酵と基質の関係

平成 24 年度東滑川海浜緑地のヒカリモの観察 ヒカリモの密度からの黄金色の膜の研究 ウツボカズラの消化液に関する研究 植物の成長の数学的解析

地 雷とスプライトの因果関係

学気温と放射冷却の関係 導電性を有する鉱物の電気抵抗値に関する研究 空の暗度と気象を用いた観測可能な星の等級の予測 カルスト地形の形成過程

理

【今年度の研究テーマ】

①「ARDF (電波探知)競技への参加・練習」 発信器を探知する競技・練習用送受信機 を自作します。

②「流星観測」

福井高専のビーコン電波を利用し、反射 波を受信することにより、流星観測をします。

③「電子工作会」

希望者を集めて定期的に電子工作会を実 施します。第1回は電子オルゴールの製作 とプログラムを行います。

【部からのメッセージ】

ただ今、部員を大募集中です!少数ですが、 興味を持ったテーマをとことんやります。



【今年度の研究テーマ】

①「宮田川の水質調査」

日立一高の脇を流れる宮田川には魚が 生息していません。その原因解明と水質改 善を目的として調査を行っています。

②「紅茶の官能評価」

紅茶の成分組成や抽出条件を調べるこ とにより、おいしさを化学的に評価する方 法を探り出します。

③「銀と銅の殺菌効果」

銀と銅はともに強い殺菌力を有してい ます。この二つを比較しながら殺菌のしく みや効力について調べていきます。

【部からのメッセージ】

化学部は"アクティブ系文化部"として、 実験室だけにとどまらず、外に出て様々な活 動を行っています。山や川を探検したり、実 験ショーを開いたり、学会に参加したり。皆 さんも一緒にアクティブしませんか?



①「東滑川海浜緑地のヒカリモの観察」 一般的にヒカリモは4月から6月に光っ

【今年度の研究テーマ】

ている様子が見られますが、東滑川緑地の 洞穴内では、年間を通して見ることが出来 ます。このヒカリモを継続観察します。

②「ヒマワリの種子の配置と繁殖戦略」 ヒマワリの花の性質について、コンピ ュータによるシミュレーションと発芽

③「ハツカネズミの体色の遺伝について」 飼育しているハツカネズミを交配し、 毛色の遺伝子について調べます。

【部からのメッセージ】

実験による研究を行います。

生物について、大小・野外・室内・動物・ 植物・微生物を問わず、様々な面で調べた り体験したりする部です。楽しいです



先輩から後輩へ。

チームワークで息の長い研究も。

科学系部活動

【今年度の研究テーマ】

①「風媒花粉による周辺環境の調査」 花粉の種類、飛んでくる方向など から、学校周辺地域の植生を調査し ます。

②「日立市周辺地形の立体模型作り」 地図の等高線をもとに、神峰山を中 心とした立体模型を作製します。

【部からのメッセージ】

周りの環境から宇宙のことまで、か なり幅広い範囲で活動しています。一 見地味な部活動にも見えますが、活動 内容は盛りだくさんです。

部員全員が、個性的でとてもユニーク。 毎日楽しく部活動を行っています。



【今年度の研究テーマ】

①「フェヒナーの法則の数学的アプローチ」 人間の感覚を微分方程式のモデルとし て表現します。

②「ビュフォンの 10 円玉」

円周率πを確率的に求める手法として 「ビュフォンの針」という方法が知られて いますが、その方法をヒントに独自の方法 を考案します。

【部からのメッセージ】

数学で解明することが出来る生活上の物 事は、みなさんの想像よりもはるかに多いの ではないかと思います。数学部は、日々、様々 な現象を数学的観点からアプローチする挑 戦を続けています。



【今年度の研究テーマ】

①「雪結晶の発生条件の検討」

平松式ペットボトル人工雪発生装置を自 作し、発生させる糸やドライアイス以外で雪 の結晶が生成するかどうかを調べます。

中学科学部

②「洗剤による汚れの落ち方について」 汚れの種類と、繊維の種類によって洗剤の種

類でどのような違いができるかを調べます。 ③「海水を用いた電池の作成」

海水を電解液とした時の金属板の種類に よりどのような違いが生じるかを調べます。

④「風力発電の検討」

羽根の形や枚数等でどのような違いがで るかを調べます。

⑤「寒天ゲルを用いた電気泳動」

寒天ゲルを用いて電気泳動により、黒イ ンク等の分離を調べます。

【部からのメッセージ】

2学年となり、部員の数も増え研究テーマも 増えました。他にも、科学の甲子園ジュニア大 会に向けて活動しています。

